

作曲家・加藤真一郎氏が各曲のアナリーゼの着眼点と、

今後ピアノを弾く上で必ず役立つわかりやすい楽譜の読み方を執筆。

ベートーヴェン研究家・越懸澤麻衣氏によるソナタを弾く上で知っておきたい音楽史、

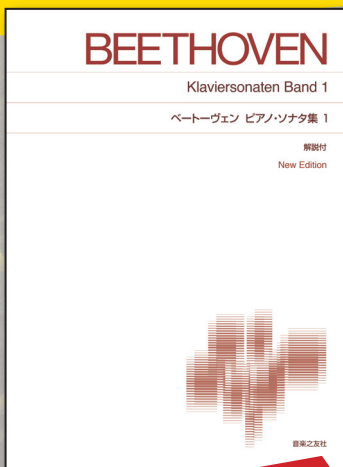
時代による楽器の特徴、作曲経緯や作品の概要は必読。

※2020年12月第2巻、2021年12月第3巻刊行予定

標準版
ピアノ楽譜

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ集1 New Edition 解説付

全32曲を3冊に分け、第1巻には《悲愴》を含むピアノ・ソナタ第1～11番(Op. 2～22)を収録。



新刊楽譜のご案内

ベートーヴェン 生誕250周年

大ソナタ「悲愴」(第8番) Op. 13

この曲は、ベートーヴェン作品の中でも特別な位置を占める作品です。というよりも、ベートーヴェン自身が「大ソナタ 悲愴 Grande Sonate pathétique」とタイトルを付けたからです。ベートーヴェンが「悲愴」のようにタイトルを付けるのは珍しいことで、ピアノ・ソナタでは他に「月光」や「ワルトシュタイン」(熱情)などのタイトルはすべて、ベートーヴェン以外の人物によって命名されました。

記号です。で弾き始めるのに、♯に導く——これは強弱記号であるが、そう簡単にはいきません。しかしピアノ・ソナタは、一度音を弾いてしまうと、その音の振動が鍵盤に響き、残響が響いていく。その残響が、次の音の準備をしてくれる。このように、ピアノ・ソナタは、一つの音の響きから、次の音の準備が始まる。このように、ピアノ・ソナタは、一つの音の響きから、次の音の準備が始まる。

標準版
ピアノ楽譜



【収録曲目一覧】

- 3つの選帝侯ソナタ WoO 47
- ロンド・カプリチオ Op. 129
- 2つのロンド Op. 51
- 7つのバガテル Op. 33
- アンダンテ・ファヴォリ WoO 57
- 6つのエッセーズ WoO 83
- トルコ行進曲 Op. 113-4
- ボロネーズ Op. 89
- 11のバガテル Op. 119

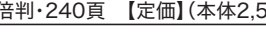
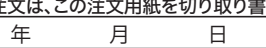
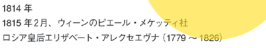
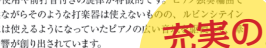
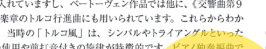
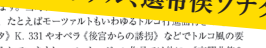
ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」 Op. 13

どうしてこの音楽はこれほど人の心をつかんで離さないのでしょうか。ひとつには、全曲で用いられるモチーフ「悲愴」が、この音楽の印象的な「序奏」の存在が挙げられます(楽例8-2)。冒頭の和音は第5番でも使われていますが、まるで違った意味をもって現れます。ちなみにソナタにおける序奏は、最初期の「選帝侯ソナタ第2番」に例があり、形式やモチーフの点で「悲愴」の先駆けとなる作品です。



メロディメーカー、ベートーヴェン

あまり認識されていないかもしれませんが、ベートーヴェンの録音の残存率は、他の作曲家に比べて非常に低いのです。その中でも、第2楽章と第3楽章は、残存率が高いため、よく知られています。第2楽章は、第2楽章と第3楽章は、残存率が高いため、よく知られています。



「解説」越懸澤麻衣

「アナリーゼ」加藤真一郎

(※ベートーヴェンピアノ・ソナタ集1のみ)

「運指」迫 昭嘉

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

「悲愴」の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。特に、第2楽章の「運指」は、非常に難しい。

ベートーヴェン ピアノ作品集 New Edition 解説付

ロンドやエッセーズ、バガテル、選帝侯ソナタなど演奏される機会の多いピアノ作品を選曲。

充実の
各曲解説

ボロネーズ 八長調 Op. 89

●作曲 1814年

●楽譜 1915年2月、ウィーンのビュル・メッケン社

●楽譜 ソラ・エッセ・エッセ・エッセ(1779～1820)

ときは1814年9月、ナポレオン戦争後、ヨーロッパに再び戦雲を

11のバガテル [Op. 119]

●作曲 1820年から1822年

●出版 第7～11曲：1821年、ウィーンでシュルツケの(ピアノ)版

のなかで出版

●全曲：1823年6月、ロンドンのクレメンティ社

●全曲：なし

ベートーヴェンのバガテル？ バガテルという概念は、この有名な

作曲家の名前とともに知られる。しかし「バガテル」の名のもとに何

が提供されているのかを見てみよう。一見、11曲のバガテルが並ん

でいるだけだ。だがその魔法のような音楽のなかで、無限の

魅力が散らばっている

(『ベートーヴェン音楽家全集』第1巻14号、1824年4月7日)

音楽的な表現を促す運指は ベートーヴェン ピアノ・ソナタを全曲収録している 迫 昭嘉氏によるもの。

キリトリ線

◎ご注文は、この注文用紙を切り取り書店・楽器店にお持ちください。または、ネットでもお買い求めいただけます。

(貴店名・帳合)	注文数	年 月 日
冊	標準版 ピアノ楽譜	ベートーヴェン ピアノ作品集 New Edition 解説付 越懸澤麻衣 解説 迫 昭嘉 運指 菊倍判・136頁 【定価】(本体2,000円+税) 【ISBN】978-4-276-41363-4
	標準版 ピアノ楽譜	ベートーヴェン ピアノ・ソナタ集1 New Edition 解説付 越懸澤麻衣 解説 加藤真一郎 解説 迫 昭嘉 運指 菊倍判・240頁 【定価】(本体2,500円+税) 【ISBN】978-4-276-41364-1
ご住所 〒		お電話番号
お名前		

